

柏崎タクシー株式会社

第81期 環境行動計画

1. 環境保全活動への取組みについての現状把握と課題

(グリーン経営推進チェックリストに基づく現状把握と今後の課題)

(1) 環境保全のための仕組み・体制の整備

環境方針を策定し、環境保全部管理者及び推進体制を定め周知し、従業員に対して環境関連法規制の内容を伝えるなどしている(レベル1)。今後は管理責任者などの役割や責任権限の明確化をはかり周知し、従業員に対して環境方針の徹底や環境に関する一般的な情報を定期的に伝えて環境保全意識の向上を図るなど(レベル2)の取組みが必要である。

(2) エコドライブの実施

全ての取組に対して運行管理者主導でのレベルアップが必要である。燃費及びアイドリング実績が悪いドライバーの個別指導・実技講習の確実な実施、優秀ドライバーの表彰継続、部門別の取組を実施する。

(3) 低公害車の導入

バス車両購入に際しては、新長期規制はもちろんポスト新長期規制を視野に入れ、最新規制適合ディーゼル車導入を今後も計画的に実施する。
タクシー車両購入に際しては、アイドリングストップ装置付車両、及びUDタクシー車両の導入を計画的に実施する。

(4) 自動車の点検・整備

各項目とも今後も法定点検に加えて独自の点検・整備基準に従って1ヶ月点検及び燃費実績等を考慮して確実に実施する。(レベル2)

(5) 廃棄物の適正処理およびリサイクルの推進

廃棄物処理は適正に実施している。従業員への廃棄物に関する教育も実施している。今後は更に従業員へ周知徹底を図る。(分別処理の実施)

(6) 空車走行距離の削減および効率的走行の推進に努めている(タクシー部に限り)

(7) 管理部門(事務所)における環境保全の推進 事務所

管理部門従業員に対する環境教育は現場従業員とともに実施し、エコマーク製品の購入、廃棄物分別及び発生量の把握、不要照明の消灯、などは実行できている。今後は、使用エネルギー及び廃棄物の削減に取り組む。

2. 目標

(1) 環境教育の推進

(2) 燃費:タクシー部 中型6.82Km/ℓ、小型6.44Km/ℓ、LPG6.60Km/ℓ、ガソリン7.72Km/ℓ

バス部 大型2.63Km/ℓ、中型3.53Km/ℓ、小型6.36Km/ℓ、刈羽4.04Km/ℓ

(3) アイドリング率:タクシー部1台年間500時間以内、バス部1台年間170時間以内

(4) 事務所での環境保全の推進:エネルギー使用量および廃棄物分別回収の徹底

3. 達成に向けた具体的な取組み内容

(1) 「環境教育の推進」に向けた具体的取組み

環境に関する一般的情報(環境問題の世界の現状など)や燃費実績等について、掲示板等を利用して継続的に情報提供、教育を行う。

(2) 燃費目標: タクシー部 中型6.82Km/ℓ、小型6.44Km/ℓ、LPG6.60Km/ℓガソリン7.72Km/ℓ バス部 大型2.63Km/ℓ、中型3.53Km/ℓ、小型6.36Km/ℓ、刈羽4.04Km/ℓ

アイドリング率目標: タクシー部1台年間500時間以内、バス部1台年間170時間以内に向けた具体的な取組み

(a) タクシー

- ① 安全運転照会表のランクC・D・E(70点以下)の乗務員に対して、安全運転実績表(速度超過・急発進・急加速・急減速の回数表示)に注意点を記述し、個別指導を確実に実施する。(月次)
- ② アイドリング率40%以上の乗務員に対し個別指導を確実に実施する。(月次)
燃費(号車ごと)、アイドリング率(乗務員ごと)を公表する。(月次)

(b) バス

- ① 運転ランキング(総合評価)のランクB(90点以下)の乗務員に対して、(速度超過・急発進・急加速・急減速・アイドリング)注意点を記述し、個別指導を確実に実施する。(月次)
 - ② 乗務員別アイドリング率を公表するとともにアイドリング率15%以上の乗務員に対し個別指導を確実に実施する。(月次)
燃費(号車ごと)、アイドリング率(乗務員ごと)を公表する。(月次)
- (c) 年1回、バス部・タクシー部において燃費、アイドリング率、デジタル総合評価、無事故等で優れた乗務員を表彰する。

(3) 「事務所での環境保全の推進」に向けた具体的取組み

エネルギー使用量を公表する。前期実績を踏まえた削減量の目標をたて取組む。廃棄物排出量を毎日計量して集計する。

平成31年 4月 1日
柏崎タクシー株式会社
環境保全責任者
代表取締役社長 吉田 一彦